

内容	医療的ケア児の生活状況等に関するアンケート調査の結果	取組の方向性	アウトカム
支援体制整備	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅療養を始める際の相談に当たって困ったことは「どこに相談してよいかわからなかった」が23人 (29) ・在宅療養を始める際も在宅移行後も相談先で最も多いのは「病院主治医と看護師」 (28,30) ・医療機関の機能の充実や専門医の確保を求める人が22人いる (33) 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療的ケア児支援体制の整備 ○小児在宅支援センターによる医療機関への支援の充実及び人材育成 	<p>○医療的ケア児の保護者の子育て充足度</p> <p>16.9% ↓ 増加</p>
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスの利用で「困っている」人は31人いる (21) ・障害福祉サービスの受入体制の充実を求める人が13人いる (33) 	<ul style="list-style-type: none"> ○提供するサービスの質と量の確保 	
事業所等支援	<ul style="list-style-type: none"> ・介護の負担を感じている人が16人いる (33) ・レスパイト先や緊急時の預け先を求める人が16人いる (33) 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療型短期入所事業所の確保 	
普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・(再掲) 在宅療養を始める際の相談に当たって困ったことは「どこに相談してよいかわからなかった」が23人 (29) ・小児在宅支援センターの認知度が54% (36) 	<ul style="list-style-type: none"> ○家族に対する小児在宅支援センターや相談先の更なる周知 	
家族等支援	<p>【災害】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の手伝者が「いない」が34% (34) ・災害時における子どもの状況の連絡先について「決まっていない」が32人 (34) 	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急時・災害時の備えの充実 	
	<p>【通学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校までの移動の65%が自家用車で送迎し、9人が「保護者の付添なしあるいはスクールバスを利用したい」と希望している (26) 	<ul style="list-style-type: none"> ○通学支援の検討 	
	<p>【成人期移行】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校卒業後の居場所を求める人が9人 (33) 	<ul style="list-style-type: none"> ○成人期以降の居場所の検討 	